



私たちは 水を生かし  
緑を広げ 安全に努め  
心を育て 助け合います

初秋の宿場町・城下町  
大賑わい!!

中山道赤坂宿まつり



◁雅楽の音色に合わせ、華やかに進む姫宮行列

14代將軍徳川家茂に御降嫁される皇女和宮行列を再現し、往時をしのぶ「中山道赤坂宿まつり」が11月3日、赤坂町の旧中山道沿いで開かれました。まつりの中心となる姫宮行列は、皇女和宮のほか、9代將軍家重に嫁いだ比宮、10代將軍家治に嫁いだ五十宮を合わせ、3姫による華やかな行列を再現。地元自治会や婦人会、小中学生ら

総勢107人が参加し、きらびやかな衣装の姫君や女官、勇ましい甲冑武者などにふんし、荘厳な雅楽の音色とともに、宿場町の面影を残す旧中山道を練り歩きました。また、ステージイベントやスタンプラリー、写真コンテストなど多彩な催しが行われたほか、和宮行列や赤坂地域に関する資料を集めた「お嫁入り普

秋の叙勲

政府から、秋の叙勲・褒章が発表されました。大垣市関係では、次の皆さんが栄誉に輝きました。

- ◁瑞宝小綬章>
  - ◇日比治男氏 元岐阜県教育委員会教育長/地方自治功労
  - ◇古田幹男氏 元名古屋南郵便局長/郵政事業功労
- ◁旭日双光章>
  - ◇西田勝義氏 元大垣市議会議員/地方自治功労
- ◁瑞宝単光章>
  - ◇横幕津ぎ氏 元民生・児童委員/社会福祉功労

請探訪館」や「赤坂港会館」にも大勢の見学客が足を運びました。初秋の寒空のもと、華麗な時代絵巻が繰り広げられた旧中山道一帯は、沿道を埋め尽くす大勢の観客で賑わい、熱気にあふれていました。

秋の芭蕉祭

芭蕉ゆかりの都市がむすびの地に大集合

11月3日、紅に色づく奥の細道むすびの地一帯で「秋の芭蕉祭」が開かれました。中心市街地の賑わいづくりの一環として、昨年の奥の細道むすびの地記念館のオープンを機に始まった「秋の芭蕉祭」。2回目の今年は、「芭蕉元禄大垣きもの園遊会」や「秋の市民俳句まつり」、子どもから大人まで楽しめるステージイベントなど盛りだくさんの催しが行われました。人気を集めたのは、芭蕉ゆかりの20市区町が集結し、各地のグルメや特産品が楽しめる「観光交流物産展」。来場者は、ちょっとした旅行気分、思い思いに各市区町のブースを巡っていました。また、この日は「元気ハツラツ市」や「水の都おおがきたらい舟」も行われ、秋の城下町は大勢の人で賑わいました。



市長の  
ななまきスール  
新エネルギーによる  
スマートシティを目指して  
大垣市長 小川 敏

東日本大震災以降、我が国の電力事情は大きく変化しました。一時、大飯原発が再稼働したものの、原子力発電所は停止状態が続いています。その分、液化天然ガスが主体とした火力発電所がフル稼働していますが、二酸化炭素の排出量増加による地球温暖化への加速、燃料高による電気料金の値上げなど、さまざまな問題を引き起こしています。

こうしたなか、私は、省エネルギーの推進・新エネルギーの活用によるスマートシティの実現を目指しています。これは、最先端のICT(情報通信技術)や環境技術などを活用して、街全体の電力の有効利用を図る環境配慮型のまちづくりを進めるものです。

現時点で、手軽に活用しやすい新エネルギーは太陽光発電です。雨の日や夜間には発電できませんが、どこにでも設置できるのがメリットです。また、大垣ならではの地下水を利用した地中熱ヒートポンプも有効と思われます。これは、常時14℃の地下水を冷房に、暖房に活用するもので、水の都らしい地産地消のエネルギーです。これらは、新しい公共施設には積極的に整備するように努め、市民の皆さんの設置に対しても補助制度を設けています。

また、家庭用の蓄電池や燃料電池についても、災害時の非常用電源として有効なため、補助制度を設けています。

市は、今後も市民の皆さんとともに省エネに努め、新エネルギーの普及を図り、環境にやさしいスマートシティを推進していきます。

